

団体の概要 (NGO/NPO用)

団体名 足立グリーンプロジェクト

所在地	〒121-0073 東京都足立区六町1-4-1 TEL:03-3884-0817 FAX:03-3884-0817 E-mail:info@greenproject.net		
ホームページ	www.greenproject.net		
設立年月	2002年 9月	* 認証年月日 (法人団体のみ) 年 月 日	
代表者・担当	平田裕之		
組織	スタッフ	16名 (内専従	0名)
	個人会員	168名	法人会員 名 その他会員 (賛助会員等) 名
設立の経緯	<p>足立グリーンプロジェクトは、東京都足立区において、長年未利用地となっていた区画整理事業用地 (2100m²) を暫定的に活用し、足立区および (財) 足立区まちづくり公社と協働でヒートアイランド現象緩和を主な目的とした「六町エコ・プチテラス」の整備および管理運営を平成14年度から行っている。今回の提言のモデルケースに当たるこの施設では、ヒートアイランド対策としてのキウイの育成・生ゴミの減量のためのエコ農園の設置、地球温暖化対策の勉強会の開催など、地域住民 (エコ・ボランティア168名) を中心とした身近なエコ活動を実践している。2年間の活動の結果、当施設の夏季における気温は住宅街よりも1~3度低下し、NHK総合テレビ『難問解決! ご近所の底力 (2004年8月5日放送) 【我慢できない! 夏の猛暑】』において涼しい風をおこすヒートアイランド対策の妙案として紹介された。また、家庭生ゴミの削減を目的に設置したエコ農園では、2年間に6.2トンの生ゴミリサイクルに成功している。さらに、環境学習イベントの開催や、区の花いっぱいコンクールに参加するなど、地域に癒しと安らぎを与えるべく、地域に開かれた活動を行っている。</p> <p>また活動プロセスにおいて環境問題に取り組む人材が多数生まれ、地域の河川浄化活動「がけ川ジャブジャブ大作戦」へと発展するなど、当事業は近隣の小・中学校や地元企業を巻き込みながら、様々な環境活動へと発展している。</p> <p>活動の様子は、XOOPS システムを活用したポータルサイト・GP- WEBにてリアルタイムで更新され、外部との積極的な交流が図られている。</p>		
団体の目的	ヒートアイランド現象、地球温暖化、ゴミ問題など深刻化する環境問題に対し、生活者の視点にたった身近な地域エコ活動を啓発するとともに、持続可能なまちづくりの実現に向けた活動を行っている。		
団体の活動プロフィール	<p>2000年6月ハイランドプラン設立 生ゴミリサイクルを主な活動目的に機関紙「ハイランドニュース」を隔月発行</p> <p>2002年9月~ハイランドプランが母体となり、ヒートアイランド対策をはじめとする身近な環境問題に取り組む「足立グリーンプロジェクト」を設立。六町エコ・プチテラス事業を開始。</p> <p>2003年6月~河川浄化事業「がけ川ジャブジャブ大作戦」の事務局として足立グリーンプロジェクトが参画</p> <p>2003年~ 足立区環境フォーラム委員</p>		

活動事業費 (平成15年度) 109万円

政策のテーマ 低・未利用地を活用したヒートアイランド対策「エコ・プチテラス」
整備とライフスタイルの改善を通じた人材育成

政策の分野

- ・ ヒートアイランド対策
- ・ 個人のライフスタイルの見直し

政策の手段

- ・ エコ・プチテラスの整備

団体名：足立グリーンプロジェクト

担当者名：平田裕之

政策の目的

低・未利用地（空き地）を活用したヒートアイランド対策と環境教育による人材育成

ヒートアイランド抑制を目的に、自治体の低・未利用地を暫定的に活用して緑化対策を行うと同時に、地域における環境活動の拠点整備を行う。「地域で・楽しく・継続的に」環境問題に取り組める拠点として、キウイ棚・エコ菜園・ビオトープなどを整備し、地域住民や学校などで組織する「エコ・ボランティア」が主体となって管理・運営する。「体験する 理解する 学習する 発展させる」という流れを通じて環境意識を深め、雨水の活用や生ゴミリサイクルなどライフスタイルの改善を伴うエコ活動を普及させる。50歳代後半から70歳代を「地域で環境問題に積極的に取り組む人的資源」と捉え、すでにもつ農的経験に加え、環境学習会などの啓発を行い、人材育成を行う。また、IT技術を活用してポータルサイトを構築し、生ゴミリサイクルメーターの設置、花いっぱい運動への参加、気温測定情報の開示など、スポット的な活動を結びつけたネットワークを構築し、地域全体でのエコ活動の活発な情報交流を行う。

背景および現状の問題点

加速するヒートアイランド、育たない人材、持続不可能な都市の現状

ヒートアイランド現象が深刻化する東京都においては平成16年7月21日に42.7度を観測した（足立区）。今後も夏季における夜間の最低気温の上昇などにより、エアコン使用による熱の悪循環がすすむと予想される。一方で高度な建築技術が個の生活空間の便利さを充実させ、それと反比例する形で住民の地域活動への参加が減少し、結果として持続不可能な都市の現状を生み出しつつある。都市整備計画の現状を考慮しつつ、温暖化防止効果の高い植物による戦略的な緑化対策を行い、同時に住民が地域との関係性を取り戻し、地域全体で持続可能なライフスタイルの確立と参画の意欲を取り戻さなければ、持続可能な都市整備は実現できない。

政策の概要

低・未利用地を暫定活用したヒートアイランド対策

自治体所有の空き地を資源として全体視し、土地利用が決まるまでの期間（3年～10年）を暫定的にヒートアイランドの緩和をはじめとする環境学習の拠点『エコ・プチテラス』として整備する。暫定的活用を前提とした整備とすることで、自治体所有の道路用地や区画整理事業用地を含めた低・未利用地を効率的に活用することができる。短期間で繁殖するキウイフルーツやニガウリ・フウセンカズラなどを活用し、壁面緑化や棚を設置すると同時に雨水活用によるヒートアイランド抑制効果を狙う。施設整備は低・未利用地の活用が決まるまでの暫定的な活用を基本とすることから、なるべく原状復帰しやすいよう基礎工事などを工夫し、屋上緑化と比べ、低コストのヒートアイランド対策を実現する。また、設計や整備から検証までのプロセスを地域住民に参画してもらい、「自らの参画により整備・管理する」施設とする。

地域の人材育成と持続可能なまちづくりの拠点づくり

エコ活動の実践に取り組む人材を地域で育成するために、エコ・ボランティアを組織すると同時にエコ菜園を整備する。除草清掃ボランティア活動、家庭ごみリサイクル・雨水の活用・学習会を定期的に行い、身近なエコ活動を継続的に取り組める環境整備をする。

IT技術を活用した情報の共有化と積極的な情報開示によるネットワークの構築

スポット的なヒートアイランド対策や地域に限定された実践活動が、社会全般に共有されるために、IT技術を活用した情報発信を行う。アーカイブ・検索機能などを備えたポータルサイトを構築し、各地での気温データの測定結果やゴミのリサイクル量などを情報公開する。活動やノウハウをインターネット上でシェアすることで、家庭・職場・学校へと活動が波及的に広がっていく。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

ステップ1【エコ・プチテラス学習会】全4回（1ヶ月～4ヶ月）

<目的> 全体の流れとイメージを明確にするため、各主体の政策実施へ向けた基礎固めを行う。

<対象> 政策の実施主体：地域住民（町会・自治会・学校関係者・地元商店など）NPOスタッフ、自治体職員、専門家（環境カウンセラーなど）など。

<学習会の内容>

- エコ・プチテラス事業の概要（目的・活動内容・効果など）
- 六町エコ・プチテラスの見学会
- エコ・プチテラス運営手法（組織のマネジメント・土地所有者との協定の結び方他）
- 計画ワークショップ（実際にエコ・プチテラスを地域に作ると仮定して、運営計画を作成する）

主なマネジメント項目
 ボランティア・マネジメント
 リスクマネジメント
 資金調達
 広報戦略
 コミュニケーション・スキル他



ビオトープでの実地研修

ステップ2【モデル整備事業】（1～1年半）

<目的> モデル事業実施を通じて、課題と解決策を明らかにする。

<対象> エコ・プチテラス事業を実施希望する主体（ステップ1の学集会に参加した対象から選定）

<内容> 六町エコ・プチテラスの事例を参考に、モデル事業を実施する。

- モデル地域の選定。
- 実施主体の明確化（既存のNPOとの調整、あるいは新規NPOの立ち上げ）
- 実施に向けたワークショップ開催：設計、運営体制、中・長期計画、リスクマネジメント・リスト作成（年10回）
- 環境学習講座（年6～8回）
- エコ・プチテラス施工（作業）
- ホームページ作成・運営管理
- 開園
- データ集計、参加者アンケート実施



エコプチ・テラス設計図例

モデルとなる場所は、2年目以降実地研修およびスタッフ育成の拠点となる可能性が高く5年程度活用できることが望ましい。廃校活用など、拠点としての機能があればより効果的と思われる。

ステップ3【エコ・プチテラス事業の普及】

<目的> エコ・プチテラス事業を各地に普及する

<対象> エコ・プチテラス事業を実施希望する主体

<内容> モデル事業での検証をもとに事業をプログラム化し、各地にエコ・プチテラスを整備し、開園する。1年目に2～3ヶ所を開園し、2年目以降スタッフの育成状況に合わせて施設を増やす。

ステップ4【エコ・プチテラス運営スタッフの育成】

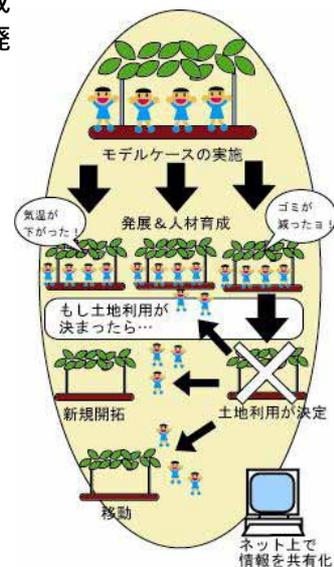
<目的> エコ・プチテラス事業の確立と運営スタッフの育成

<対象> エコ・プチテラスの運営スタッフ エコ・プチテラス事業参加を希望する個人・団体

<内容>

- スタッフ研修プログラムの開発と実施（年間6～8回）
- 運営マニュアルの開発と普及
- 環境学習プログラムの開発と実施
- インターネットによる情報の共有化のための要綱作成

ステップ3および4は同時並行で行われる。各エコ・プチテラスの運営が統一されるよう既存のエコ・プチテラスを活用しながらスタッフの育成を行う。



政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）
足立グリーンプロジェクト：政策全体の企画コーディネート
特定非営利活動法人 NPO birth：環境学習プログラムアドバイザー
自治体：エコ・プチテラス用地として未利用地の提供
三上岳彦教授（東京都立大学気候学研究室）：ヒートアイランド効果測定の協力

政策の実施により期待される効果

ヒートアイランド現象の抑制

エコ・プチテラスの整備により施設内の気温は1～3度の低下し、テラスの北側住宅は約1度の気温低下する（東京都立大学三上武彦教授による六町エコ・プチテラスでの調査より）。キウイ棚やエコ菜園を設置することで、定期的な水遣りが蒸散作用を生み、気温上昇の抑制となる。また、雨水利用や壁面緑化などヒートアイランド対策を住宅街においても積極的に推進することにより、地域全体でのヒートアイランド対策を実施することが可能になる。

環境教育の波及

日常生活の中で自然と環境問題に接する機会を提供する。「体験する 理解する 学習する 発展させる」サイクルを体験することで、一人ひとりに実践を通じた環境教育が浸透し、世代を超えた環境教育が可能となる。

セミ・パブリックスペースの創出による地域交流の活性化

エコ・プチテラスは、既存の公園と比べ地域住民が主体的に関われる割合が大きい。育てたキウイが周辺の気温を下げ、野菜や花を育てることが温暖化対策やゴミの減量に貢献することで、「私益」と「公益」との共存関係が成立する。「パブリック」と「プライベート」の中間に当たる「セミ・パブリックスペース」を創出することにより、住民と地域に新たな関係性が生まれ、治安の改善や災害時の避難所になるなど、環境対策以外の効果も見込まれる。

自治体の除草・清掃費用削減と地域環境の美化

自治体の低・未利用地は、不法投棄物や雑草などで除草・清掃費に多額のコストが掛かると同時に地域の景観を損ねていることが多い。それらを活用して対策を行うことで、除草・清掃費用が削減できると共に、花壇整備などを行うことで、地域の環境美化ができる。

持続可能なまちづくりの確立

エコ菜園で野菜を育てることで、季節ごとに取れる野菜を知ることができ、例えば「冬にトマトが採れることがどういうことなのか」「旬の野菜をつかった食事とはどんなものなのか」を自然と考えるようになる。また、日常生活において「家庭からでるゴミを堆肥にして土を育て野菜を収穫する」「雨水や風呂の残り湯を花や野菜の水遣りとして二次活用する」ことで、環境に配慮したライフスタイルが確立し、地域全体で持続可能なまちづくりが実現する。

その他・特記事項

運営資金

エコ菜園の利用は会員制とし、会費はエコ・プチテラス事業の主な運営資金源とする。また施設の整備や、用地活用が決まった場合の撤去費用は、地域企業からの支援を積極的に募り、広告収入によりまかなう。エコ・プチテラスにスポンサー広告を掲示し、ホームページ上での広告宣伝をすることで、地元企業と連携しながら地域の活性化を目指す。

高齢者の生きがい対策

少子高齢化が進む中、都市部におけるエコ・プチテラスの整備は、ヒートアイランド対策以外にも地域コミュニティの形成や高齢者の生きがい対策としても大きな効果がある。活動に参加する地域住民をエコ・ボランティアとして登録し、名前と顔写真が入ったネームカードを配布する。セミ・パブリックスペースでの交流や、エコ活動を通じて社会貢献をしているという主体的な意識が元気な高齢者社会を作り、元気な高齢者が安全で安心できるまちをつくるシナジー効果を生む。

未利用地活用の経済効果：エコツーリズムの可能性

この事業を自治体全体としてのシステムとして捉えることで、都市部でのエコ・ツーリズムが可能になる。春には各テラスに咲く花めぐりツアーを開催し、夏にはニガウリでの壁面緑化の説明とニガウリ直売を行い、秋にはキウイ狩りツアーを開催するなど、外部の方に町の魅力を楽しんでもらう事業企画ができる。エコ・プチテラス事業のシステムというソフトを観光資源とした「持続可能な都市開発」をテーマに、人を町に呼び込む流れを作ることが可能になる。

